

- 日時：令和8年1月19日(月) 11:10～12:15
- 場所：新渡戸文化中学校・高等学校
- 参加者：53名（中学2年生50名・教員3名）
- 講演者：ムーンショット目標8 小槻プロジェクト 黒澤賢太 特任研究員(千葉大学)
- 応募の背景（新渡戸文化中学校・高等学校様より）

JSTの動画「これからヒーロー！」で目標8 小槻プロジェクトの研究に興味を持った。理科のカリキュラムである「気象」の導入として、先端科学技術を知り、社会の課題や技術の負の側面を知る中で、生徒たちに意欲的に気象について学んで欲しいと考え応募。

## ■ 概要：

### <黒澤先生講演>

人工衛星からの観測、雲の種類や積乱雲発生の仕組み、豪雨が起こりやすい地形など、気象学の基礎について分かりやすく説明。実際の豪雨被害のニュースなどを交えて解説が行われ、生徒が気象と日常生活とのつながりを実感できる内容となりました。

さらに、ムーンショット目標8の取組として、AIやスーパーコンピュータを活用した予報精度の向上への挑戦、雲へのドライアイス散布による降雨・降雪制御の予備的実証実験、そして気象制御を進めるうえで避けられない倫理的視点などが紹介され、未来の科学技術が持つ可能性と課題が示されました。

### <ディスカッション>

「豪雨被害の経験は？」というグループディスカッションでは、生徒から「マンホールから水が噴き出した」「川の水位が急に上がって怖かった」など、身近な体験に基づく意見が多く出され、豪雨災害が日常と密接に関わるテーマであることが共有されました。

質疑応答では、「天気予報に使われるAIと身近なAIの違い」「実証実験に必要なドライアイスの量」など、科学技術への素朴な疑問が活発に挙がりました。黒澤先生が一つ一つ丁寧に回答し、生徒にとって新たな興味や学びを広げる機会となりました。

### ■ 参加者の感想（抜粋）

- これからヒーロー！で見た内容でワクワクした。
- 積乱雲ができる仕組みや、雨を制御する仕組みがすごく印象的。
- 天候や豪雨被害についての関心が高まった。
- 専門的な内容をわかりやすく学ぶことができた。

### <目標8 小槻プロジェクトマネージャーの研究開発プロジェクト>

「海上豪雨生成で実現する集中豪雨被害から解放される未来」 [https://www.jst.go.jp/moonshot/program/goal8/89\\_kotsuki.html](https://www.jst.go.jp/moonshot/program/goal8/89_kotsuki.html)



講義の様子



グループディスカッションの様子



これからヒーロー！の仲間たち

※これからヒーロー！ <https://www.jst.go.jp/program/kencolle/>

